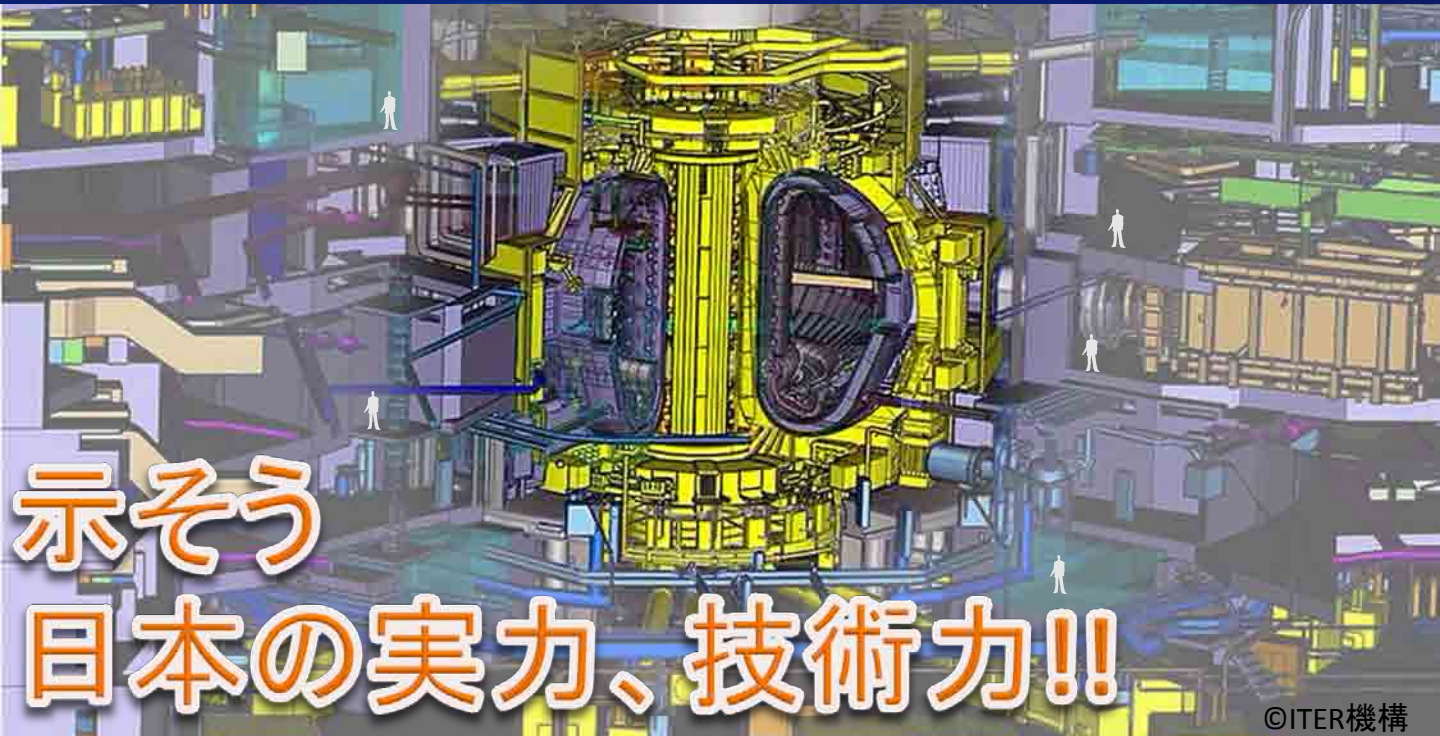


日本の未来を拓く核融合



©ITER機構

示そう
日本の実力、技術力!!

国際協力で建設中の実験炉ITERの主要機器に日本産業界の最先端技術が貢献



JT-60SA



真空容器40度セクター

原型炉開発を主に実験・物理面から挑むJT-60SA



スーパーコンピュータ
六ちゃん

運転開始した
IFMIF/EVEDAリチウム
試験ループ

原型炉開発を主に工学面から挑むBA活動研究施設群

日時 : 平成24年11月21日 (水) 13:00-16:15(開場:12:30)
会場 : イノホール (千代田区内幸町2-1-1 イノビル4F)
参加費 : 無料 (定員500名)

会場アクセス



霞ヶ関駅から徒歩1分
内幸町駅と地下連絡通路で直結

主催 : 核融合エネルギーフォーラム
協賛 : 日本原子力産業協会、日本原子力学会、
プラズマ・核融合学会

ITER/BAにおける主要機器の製作が進展している中、我が国の産業界の技術力をアピールし、国と国内実施機関、大学、国内産業界等が一丸となって核融合エネルギー研究開発を推進し、世界を先導していることを示します。

核融合エネルギーフォーラム・社会と核融合クラスター 小川雄一(東京大学)

プログラム(13:00-16:15) 12:30開場、12:30-15:30 パネル展示

- ・開会挨拶 中島尚正 核融合エネルギーフォーラム議長
- ・来賓挨拶
- ・核融合研究開発の意義 文部科学省
- ・原型炉開発への今後の研究展開 堀池寛 大阪大学
- ・ITER建設とBA活動の状況 日本原子力研究開発機構

休憩

・ITER/BAで開発された最先端テクノロジーとそのスピンオフ技術 (国内産業界 8社による技術報告(50音順))

- ・ 京セラ株式会社、金属技研株式会社、
新日鉄住金エンジニアリング株式会社、株式会社 東芝、
株式会社 日立製作所、古河電気工業株式会社、
三菱重工業株式会社、三菱電機株式会社

- ・カダラッシュからのメッセージ 本島修 ITER機構長
- ・閉会挨拶

ロビーにおいて企業や国内実施機関等によるパネル展示(12:30-15:30)を行います。
多数のご来場をお待ちしております。